

山形高沢発電所事業性評価調査事業

1. 事業の目的

小水力開発の事業性評価には、様々な調査により得られた精緻なデータや綿密な基本計画による検討が必要とされる。それら調査は、画一的な手法によるものではなく、地域特性を十分に把握できる最新の情報であることが重要である。

本計画地点では、それら基本情報が不足しており、適正な事業性評価を検討する環境下でないことから、小水力開発に必要な不可欠な正常流量調査・地形測量・地質調査・基本設計を実施し、事業実施に向けた事業性評価を行うことを目的とする。

2. 事業の内容

- (1) 事業者名
三峰川電力株式会社
- (2) 事業名
山形高沢発電所事業性評価調査事業
- (3) 事業期間
平成 29 年 7 月 31 日 ~ 平成 30 年 2 月 23 日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - a.型 式 : 水路式
 - b.使用水量 : 0.15m/s
 - c.有効落差 : 102.73m
 - d.出 力 : 120kW

3. 平成 29 年度の事業実施概要

(1) 実施概要

調査名	流量調査	地形測量	地質調査
数量	・河川流量調査 5回 ・資料作成 1式 ・報告書作成 1式	・水準点・基準点設置 1式 ・地形測量 1式	・ボーリング調査 2ヶ所 ・報告書作成 1式
作業期間	平成 29 年 9 月 ~ 平成 30 年 1 月	平成 29 年 9 月 ~ 平成 30 年 1 月	平成 29 年 9 月 ~ 平成 30 年 1 月

(2) 調査実施状況



水槽予定地点



発電所建屋予定地点



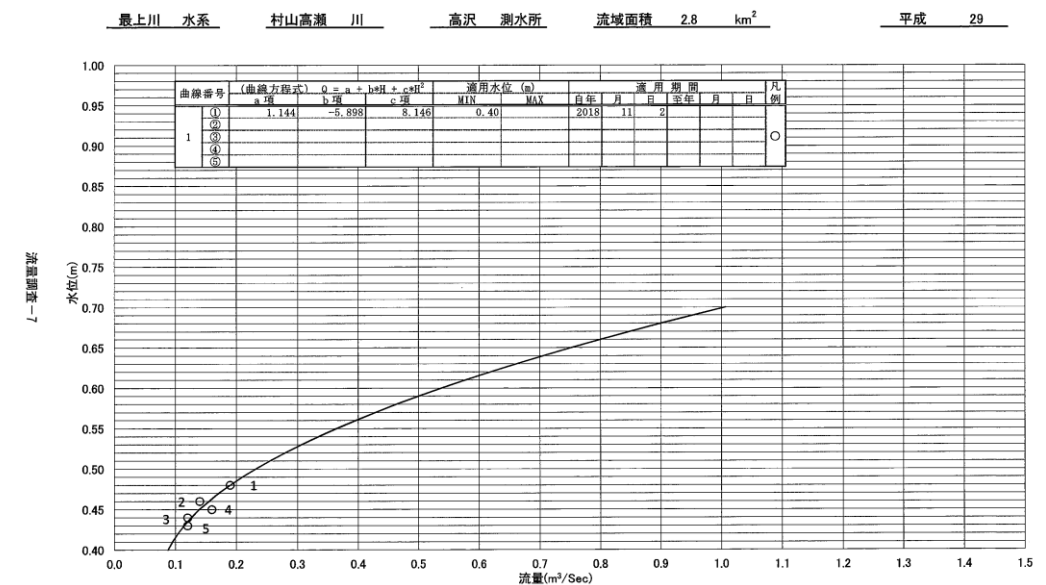
地質調査状況



4. 事業の成果等

- ・流量測定：今年度実施した流量測定は調査期間も少なく全体の流況を確認することが出来ないため、平成 30 年度調査として流量測定を継続することで全体の流況を把握し発電電力量の推定を行い事業性評価を実施し検討することとする。

水位流量曲線図



- ・地形測量：今年度実施した詳細な地形測量により、発電所予定地点及び取水予定地点の地形が把握でき、施設構造物を設計する場合の確度の高い基礎資料となる。
- ・地質調査：今年度実施した地質調査により、発電所建屋予定地及び取水施設予定地の地質に問題ないことが把握できた。

◎ま と め：今年度実施した調査において、現地の地形状況、地質状況が把握できた、また、流量調査は期間が短く、全体の流況を把握する事は出来なかったが、平成 30 年度も継続して流量測定を継続することで全体の流況を把握し、発電電力量の推定を行い事業性評価を実施し、次ステップとなる建設コスト等を確認するための基本設計業務を実施する。

5. 事業スケジュール

調査内容		平成 29 年度	平成 30 年度
流量調査	計画		
	実施		
測量調査	計画		
	実施		
地質調査	計画		
	実施		
基本設計	計画		